

消防だより

Vol.7

救助特集 RESCUE

令和4年11月

編集・発行／木更津市消防署 本署警防隊

担当 伊藤・中原・山田

〒292-0834 木更津市潮見2-1 TEL 0438-22-0119

Fax 0438-22-0151

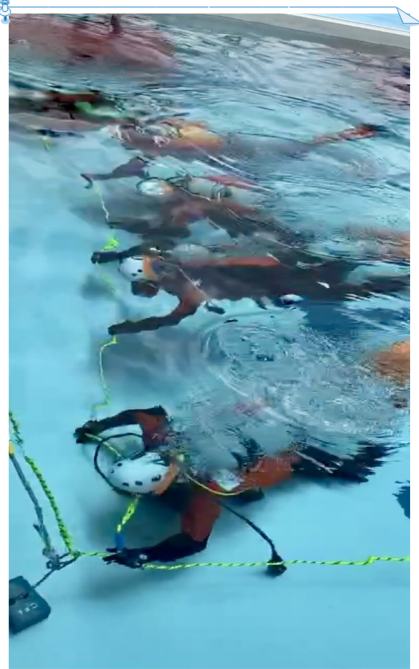
e-mail sho-shoubo@city.kisarazu.lg.jp



命を救うための水難救助訓練実施中！



水の事故が発生した際に迅速な救助活動が行える様、毎年7月から2月まで水難救助訓練を実施しています。水難救助活動は、危険度の高い活動で一歩間違えれば大きな事故につながりかねないことから、救助隊員には高度な知識と技術に加え強い忍耐力と冷静沈着な行動が求められます。シュノーケルとフィンを着用した泳法、ダイビング資器材を使用した潜水訓練を実施、潜水技術の錬磨と各隊員の連携強化を図っております。今後も継続的な訓練に取り組み、管内の水難事故対応力の一層の強化に努めてまいります。



破棄ホースを再利用し救出ネットを作成、実践救出に向け試行錯誤を重ねあらゆる水難事故を想定した訓練を実施しています。



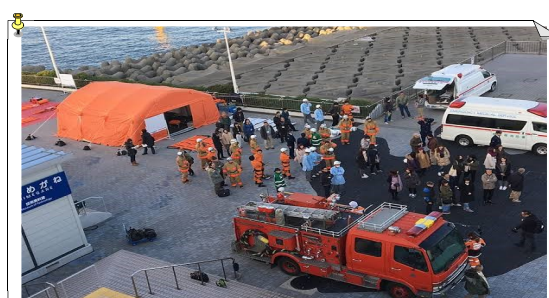
破棄ホースで作成！
救出ネット



東京湾アクアライン防災訓練実施予定！



毎年行われている東京湾アクアライン海ほたるを会場とした合同訓練では、川崎市消防局臨港消防署、千葉県・神奈川県警察機関、東日本高速道路(株)関係機関と合同でCBRNE災害を想定し消防による検知や除染活動、警察による避難誘導、東日本高速道路による動線の確保等の初動対応を行い、訓練を通して互いの活動手順や使用する資器材の特性等を確認し共同で訓練を実施します。今後も関係機関と「顔の見える関係」を築きながら連携を深めて参ります。

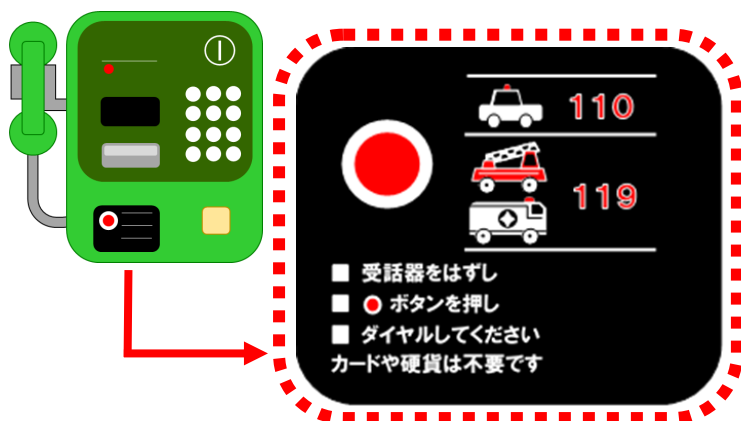


携帯電話等から119番につながらないときは

- 慌てる事なく、周囲に助けを求め通報をお願いするか、近くの公衆電話を利用しましょう。

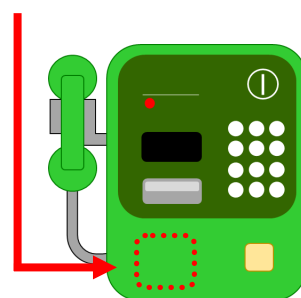
通信・通話障害が発生し、スマートフォンや携帯電話から119番通報がつながりにくい場合は、近隣の方やお店などに119番通報を依頼する、公衆電話を利用する、消防署に直接駆け込むなどのご対応をお願いします。

- 公衆電話からの119番通報のかけ方



- ①受話器をあげて赤いボタン(緊急通報ボタン)を押して下さい。
 - ②発信音が聞こえたら110、119等をダイヤルしてください。
- ※硬貨やカードは不要です。

赤いボタンがない公衆電話の場合



受話器をあげ発信音が聞こえたら110、119等をダイヤルしてください。
※硬貨やカードは不要です。

救急隊のコンビニ等利用について

- 救急隊員のコンビニエンスストアなどの利用についてご理解とご協力をお願いいたします。

救急要請が増加しており、救急隊が消防署に帰ることができず、水分補給や食事をとることが難しい状況が多くなっています。そのため、傷病者を医療機関へ搬送した後、常に救急出動できる体制を維持しながらトイレの利用、水分補給や食事のため病院内の売店・コンビニエンスストア・自動販売機などを利用することがあります。

隊員の健康管理及び救急活動の質を維持するためにも、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



もしも!のときは…

119番